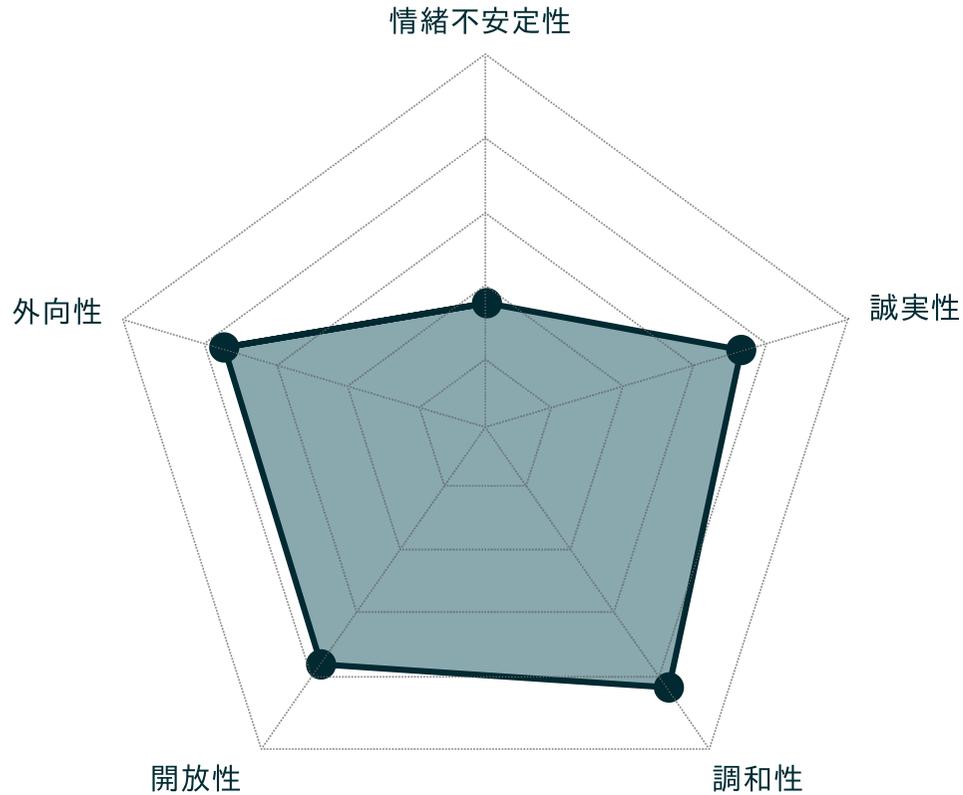


Big Five personality traits

Papers on psychology from around the world that have been statistically validated as representing basic human personality traits A reliable indicator used in

サンプル 様の性格分析結果



項目の意味

情緒不安定性

情緒不安定性は、ネガティブな状況に対する反応を示す因子。
情緒不安定性が高いと心や体に影響を受けやすく、
低いと心や体に影響を受けにくい傾向があります。

外向性

外向性は、コミュニケーションや新しい人との出会いなどへの反応を示す因子。
外向性が高いと新しい出会いに積極的で刺激を好み、
低いと人見知りや思慮深い傾向があります。

開放性

開放性は、知的好奇心や想像力など新しいことへの関心を示す因子。
開放性が高いと想像力が豊かで、
低いと保守的かつ安定を好む傾向があります。

調和性

調和性は、他者への共感力や配慮を示す因子。
調和性が高いと争いや対立を避ける行動をし、
低いと感情を重要視せずに行動する傾向があります。

誠実性

誠実性はセルフコントロールや責任感を示す因子。
誠実性が高いとセルフコントロール能力に長け、
低いと直観的な行動力が高い傾向があります。

グラフについて

解析結果のグラフは、心理学のビッグファイブ理論に基づいて各因子のポイントを算出したものです。ビッグファイブ理論とは、性格判断する上で信憑性が高いと言われていています。各因子のポイントの高低によって、その人の性格や特性を示しています。各因子のポイントが高いから良い、低いから悪いというものではありません。

サンプル 様の 性格分析結果

総評

人や場の雰囲気を読み、現実な行動を選択する傾向があります。周りに多くのことを求めず、寛大な態度で接することから、現実的なタイプとみられることもあります。対外的な折衝や窓口、社内の調整役など幅広く特性が活かされます。5つの因子の中で調和性が高いので、人との和を重視する傾向があります。人の気持ちを汲み取り、人を助けることで喜びを感じます。人と対立することを避け、円滑に進めるために妥協や自分を抑えることもあります。自己犠牲的ではなく、人のために行動することで、自己実現をします。コミュニケーションが必要とされる職場や一つの目標をやり遂げるために人間力や人間らしさが支えとなる仕事などで力を発揮します。また、情緒不安定性が他の因子に比べると低いので、感情面で安定していて、ストレス耐性が高い傾向があります。ネガティブな状況に置かれても物事に動じず、予期しないようなことが起こっても落ち着いて冷静に対処します。どんなときでも穏やかに寛大な態度で接する必要な場面や環境で力を発揮します。

情緒不安定性

C

感情面で安定していて、ストレス耐性が高い傾向があります。ネガティブな状況に置かれても物事に動じず、予期しないようなことが起こっても落ち着いて冷静に対処します。

外向性

B

外交的な面と内向的な面を併せ持つ傾向があります。状況や求められる立場に合わせて、自分から積極的に人に話しかけたり、聞き手に回ったりします。

開放性

B

環境や状況に合わせて臨機応変に行動する傾向があります。必要なときにチャレンジし、ルーチンワークやルールがある環境でもストレスを感じることなく行動します。

調和性

B

周囲に合わせる協調性とマイペースなところを持つ傾向があります。チームや組織では調整役としてみんなの意見をまとめることや人との距離を保ちながら、自分の目的を実現するバランスの良さがあります。

誠実性

A

計画性・責任感・勤勉性が高い傾向があります。どんなに高い目標でも、目標達成に向けてコツコツと努力する傾向があります。行動する前に慎重に考えてしまい、スタートダッシュが遅くなってしまうこともありますが、一度決めたことは確実にやり遂げる、忍耐力や集中力を持っています。

※ビッグデータから5つの平均値をそれぞれ算出する為、グラフの見え方とランクは異なるケースがあります。